
宮崎県埋蔵文化財センター年報

第 2 9 号

令 和 6

(2 0 2 4)

年 度

2025

序

本書は、宮崎県埋蔵文化財センターの概要と令和6年度に実施した諸事業についてまとめたものです。

当センターは、平成8年4月1日、宮崎県総合博物館から分離独立して30年目の節目の年を迎えることになりました。この間、国・県・西日本高速道路株式会社等の各種開発事業に伴う発掘調査の実施や未指定の重要遺跡の分布調査からその保護に向けた取り組み、発掘調査に伴って出土した遺物の整理、保管を行ってきました。さらに、テーマ展示や出前展示、報告会等を開催し、県民の皆様の郷土理解に役立てるなど、埋蔵文化財の保護と活用、教育普及活動に取り組んでいるところです。

令和6年度は、高等特別支援学校整備、新富スマートIC（仮称）建設に伴う2遺跡の発掘調査を実施しました。また、令和5年度に発掘調査を終了した五ヶ瀬川・大瀬川分派事業に伴う1遺跡の整理作業を行い、報告書を刊行しました。発掘調査を行った遺跡では現地説明会を開催し、関係者や地域の方に現地を見ていただき、調査の成果を広く還元することができました。

教育普及事業は、移動展示会を高千穂町、都城市、国富町の3か所で開催し、ふるさとの遺跡学習会や体験講座を開催しました。例年開催する施設公開や埋文講座においても、最新の成果を取り入れ、埋蔵文化財への理解の一助となるよう努めております。

当センターは今後も職員が一丸となって業務に邁進してまいりますので、関係各位の御理解と御協力をお願いいたします。

令和7年5月

宮崎県埋蔵文化財センター
所長 飯田 博之

目次

I	組織・施設	1
1	組織	1
2	施設	2
II	宮崎県埋蔵文化財センターの沿革	3
III	令和6年度の活動状況	5
1	埋蔵文化財記録保存のための発掘調査	5
(1)	発掘調査	5
(2)	発掘調査に伴う調査指導及び職員の資料調査	5
(3)	出土遺物等整理及び発掘調査報告書の刊行	6
(4)	近代宮崎の出発点 西南戦争関連遺跡調査・活用事業（文化庁補助事業）	6
(5)	保存処理	7
(6)	収蔵整理	8
2	教育普及活動	8
(1)	移動展示会「ふるさとの遺跡再発見」（文化庁補助事業）	8
(2)	埋文講座	10
(3)	埋文センター施設公開・体験講座	10
(4)	遺跡発掘成果展2024・遺跡発掘速報会	11
(5)	分館テーマ展示	11
(6)	出前展示	11
(7)	出前講座	12
(8)	現地説明会・インターンシップ・職場体験の受け入れ	13
(9)	見学・研修等で分館を訪れた団体	14
(10)	資料等の提供	15
(11)	職員派遣	18
(12)	埋蔵文化財担当専門職員研修会	19
(13)	広報出版物	19
(14)	研究紀要	19
(15)	ホームページ・SNS	20
3	会議・職員研修	20
(1)	各種会議等への参加	20
(2)	共同研究への参加	20
(3)	労働安全衛生関係の講習会等への参加	20
IV	宮崎県埋蔵文化財センター管理規則	22

I 組織・施設

1 組織

(令和7年4月1日現在)

所長 — 副所長	総務課 — (予算、施設管理、会計、庶務業務)	— 総務担当
	調査課 — (国・県関係事業の発掘調査、重要遺跡の調査・保護)	— 調査第一担当
		— 調査第二担当
		— 調査第三担当
	普及資料課 — (出土品等の保存・管理・活用、教育普及)	— 普及資料担当

所長	飯田 博之	○調査第二担当 (担当リーダー)	
副所長	瀬之口 博行	主 幹	甲斐 貴充
		(高速道対策局・併)	
総務課		主 査	吉田 博喜
		(高速道対策局・併)	
(兼)課長	瀬之口 博行	主 査	川嶋 信平
○総務担当 (担当リーダー)		(高速道対策局・併)	
主 幹	原田 佳奈子	主 査	小川 雄太郎
専門主幹	加塩 美昭	主任主事	留野 優兵
主 事	前田 和穂		加藤 真理子
主 事 (会計年度任用職員)	小川 優	○調査第三担当 (担当リーダー)	
業務支援員	永野 光希子	主 幹	堀田 孝博
調査課		主 査	今村 陽一
		主 査	中島 寛
課長	松林 豊樹	普及資料課	
○調査第一担当 (担当リーダー)		課長	日高 広人
副主幹	藤木 聡	○普及資料担当 (担当リーダー)	
専任主幹	松田 清孝	主 幹	平井 祥蔵
主 査	小山 輝晃	主 査	後藤 清隆
主 査	木村 哲弥	主 査	筒井 克彦
主 事	池上 愛菜	(会計年度任用職員)	
		埋蔵文化財整理専門員	貴嶋 活実
		埋蔵文化財整理作業員	松羅 紀子
		埋蔵文化財整理作業員	鈴木 律子

2 施設

(1)本館 (宮崎市佐土原町下那珂4019)

本館 2,656.50 m²

①管理棟・調査研究棟 (鉄筋コンクリート造一部木造平屋建) 1,745.99 m²

事務室	57.76 m ²	所長室	19.86 m ²
情報処理室	33.17 m ²	会議室	78.52 m ²
休憩室	78.52 m ²	調査研究室	248.55 m ²
復元整理室	293.44 m ²	一次処理室	96.81 m ²
図面整理室	61.62 m ²	写場	64.20 m ²
暗室	12.65 m ²	一次保管室(2層)	188.00 m ²
図書室(2層)	193.88 m ²	荷捌室	43.01 m ²
その他	276.00 m ²		

②整理作業棟(収蔵庫)(鉄骨造) 216.76 m²

③収蔵庫棟(鉄骨造) 693.75 m²

(2)分館(宮崎市神宮2丁目4-4)

分館(鉄筋コンクリート造2階建) 1,652.38 m²

1階 877.58 m²

一次処理室	121.20 m ²	復元整理室	148.30 m ²
保存処理室	49.30 m ²	研修室	143.20 m ²
(鉄器	22.70 m ²)	事務室	41.80 m ²
(木器	26.60 m ²)	展示室	150.00 m ²
器材庫	11.00 m ²	エントランスホール他	212.78 m ²

2階 774.80 m²

写場・暗室	49.30 m ²	写真保管室	35.10 m ²
図面保管室	53.10 m ²	収蔵整理室	19.30 m ²
収蔵室	564.00 m ²	特別収蔵室	54.00 m ²

II 宮崎県埋蔵文化財センターの沿革

西暦	年月日	事項
1980	昭 55	「埋蔵文化財センター建設計画」立案。
1981	56	基本設計を実施。
1982	57.1.9 7.29 10.2	起工式 竣工 宮崎県総合博物館埋蔵文化財センターとして宮崎市神宮2丁目4-4に設置。 センター長 吉田敏明（兼博物館副館長）以下本務職員2名（岩永哲夫、谷口武範）、兼務職員8名、嘱託2名発令。出土品等の整理保管と教育普及活動を行う。 開館記念講演「日本文化のふるさとをたずねて、東南アジアの旅から」 （講師：国立民族学博物館教授 佐々木高明）
1983	58.4.1	センター長 細川達雄発令。本務職員を3名（茂山護、岩永哲夫、谷口武範）に増員する。
1984	59.4.1	（茂山護転出、菅付和樹転入）
1985	60.11.2	文化財保護強調週間の行事として施設公開を初めて行う。
1986	61.4.1 61.7	センター長 久徳菊雄発令。兼務職員7名になる。 毎月第4土曜日の映写会「遺跡をたずねて」を始める。
1987	62.3 62.4	埋蔵文化財調査研究報告第1集「陣内第2遺跡、蓮ヶ池横穴墓群-遺物編」刊行。 埋蔵文化財講座を始める。
1988	63.3 63.4.1	埋蔵文化財調査研究報告第2集「下那珂貝塚」刊行。 センター長 長友巖発令。本務職員1名（菅付和樹）、兼務職員9名となる。
1989	平 1.4.1	センター長 石井祥博発令。本務職員1名（永友良典）、兼務職員11名となる。
1990	2.3 4.1	埋蔵文化財調査研究報告第3集「下北方古墳-遺物編」刊行。 兼務職員13名となる。
1991	3.3 4.1	埋蔵文化財調査研究報告第4集「下弓田遺跡-資料編I」刊行。 センター長 木幡文夫発令。設備充実の一環として、軟X線撮影装置等を導入する。
1992	4.4.1	センター長 藤崎景二発令。 埋蔵文化財センター開設10周年記念企画展「宮崎の埋文情報展'82~'91」を開催する。 脱塩装置、赤外線TVカメラシステム等を導入する。
1993	5.4.1 9.15	センター長 後藤健志発令。本務職員1名（長津宗重）、兼務職員15名となる。 空調設備増設。
1994	6.3.8	特別収蔵庫設置。
1995	7.1.29 2.16 4.1	一般収蔵庫増設工事完成。 屋根防水工事完了。 センター長 関屋清志発令。本務職員1名（長津宗重）、兼務職員24名となる。 県文化課埋蔵文化財第二係（調査部門）を埋蔵文化財センターに置く。
1996	8.4.1	宮崎県埋蔵文化財センターとして宮崎県総合博物館から分離独立し、庶務係、調査第一係、第二係、教育普及係（第二係兼務）を置く。 所長 藤本健一以下職員37名、嘱託1名発令。鶴島分室（旧婦人相談所：宮崎市鶴島2丁目11-25）を設置し、調査第一係（東九州自動車道担当）を置く。
1997	9.3.17 4.1	分室を国富（旧国富農業改良普及センター：国富町大字本庄4777-2）に移転する。 職員37名、嘱託7名となる。
1998	10.4.1	所長 田中守発令。職員39名、嘱託8名となる。
1999	11.4.1	職員42名、嘱託8名となる。
2000	12.1.20 4.1	佐土原町に新館が完成し、国富分室を統合廃止する。神宮の旧本館を分館とする。 所長 矢野剛発令。課制となり、総務課、調査第一課、調査第二課、普及資料課を置く。職員52名、非常勤職員12名となる。分館（研修室、事務室、図面保管室、写真保管室）改築工事完成。

西暦	年月日	事項
2001	13.4.1 7.1	職員 59 名、非常勤職員 16 名となる。 調査第一課調査研究室設置。
2002	14.4.1	所長 米良弘康発令。職員 63 名、非常勤職員 17 名となる。
2003	15.4.1	職員 64 名、非常勤職員 15 名となる。
2004	16.4.1	所長 宮園淳一発令。職員 62 名（うち任期付き職員 13 名）、非常勤職員 12 名となる。 収蔵庫用に旧蕪検定工場を農政企画課から所管換え。
2005	17.3.8 4.1 8.18 11.6	収蔵第一期工事完成。 職員 61 名（うち任期付き職員 19 名）、非常勤職員 9 名となる。 収蔵第二期工事完成。 調査第一課整理棟の設置。（東畦原整理作業棟撤去に伴い貸借開始）
2006	18.4.1	所長 清野勉発令。職員 64 名（うち任期付き職員 18 名）、非常勤職員 8 名となる。
2007	19.4.1	職員 64 名（うち任期付き職員 19 名）、非常勤職員 3 名となる。
2008	20.4.1	所長 福永展幸発令。職員 61 名（うち任期付き職員 16 名）、非常勤職員 2 名となる。 調査第一課整理棟撤去。
2009	21.4.1	職員 59 名（うち任期付き職員 18 名）、非常勤職員 1 名となる。
2010	22.4.1	所長 森隆茂発令。職員 62 名（うち任期付き職員 18 名）、非常勤職員 1 名となる。
2011	23.4.1	職員 53 名（うち任期付き職員 15 名）、非常勤職員 1 名となる。
2012	24.4.1	所長 北郷泰道発令。職員 42 名（うち任期付き職員 7 名）、非常勤職員 1 名となる。10 月より東日本大震災復興支援で宮城県へ松本茂を派遣。
2013	25.4.1 10.12 ~12.8	所長 向井大蔵発令。職員 31 名、非常勤職員 1 名となる。引き続き東日本大震災復興支 援で、宮城県へ和田理啓を派遣。 特別展『みやざき発掘 100 年-いにしへの「道」と交流』開催。
2014	26.4.1	所長 岩切隆志発令。職員 28 名、非常勤職員 1 名となる。調査第一課と調査第二課を統 合し、調査課を置く。東日本大震災復興支援で宮城県へ和田理啓を派遣（2 年目）。
2015	27.4.1	東日本大震災復興支援で宮城県へ和田理啓を派遣（3 年目）。本年度で派遣終了。 移動展示会「ふるさと発掘！埋文キャラバン」事業でアウトリーチ活動を展開。 旧調査第一課調査研究室撤去。
2016	28.4.1	所長 谷口武範発令。10 月より非常勤職員 2 名となる。
2017	29.4.1	所長 菅付和樹発令。職員 29 名、非常勤職員 3 名となる。平成 28 年熊本地震復興支援 で加藤徹を熊本市に派遣。
2018	30.4.1	所長 長嶺勝志発令。職員 31 名、非常勤職員 1 名となる。平成 28 年熊本地震復興支援 で沖野誠を熊本市に派遣。
2019	31.4.1	所長 山元高光発令。職員 31 名、非常勤職員 1 名となる。平成 28 年熊本地震復興支援 で沖野誠を熊本市に派遣（2 年目）。
2020	令 2.4.1	職員 31 名、会計年度任用職員 2 名となる。平成 28 年熊本地震復興支援で沖野誠を益城 町に派遣。
2021	3.4.1	所長 菊村祐司発令。職員 31 名、会計年度任用職員 2 名となる。
2022	4.4.1	職員 30 名、会計年度任用職員 3 名となる。
2023	5.2.1 4.1	所長 吉本正典発令。 職員 27 名、会計年度任用職員 3 名となる。
2024	6.4.1	所長 飯田博之発令。職員 26 名、会計年度任用職員 3 名となる。
2025	7.4.1	職員 25 名、会計年度任用職員 4 名となる。

Ⅲ 令和6年度の活動状況

宮崎県埋蔵文化財センター（以下、埋蔵文化財センター）は次に掲げる業務を行っている。

- 1 埋蔵文化財の調査研究
- 2 出土品その他の資料の保存及び活用
- 3 埋蔵文化財の調査研究に係る図書その他の資料の整備
- 4 埋蔵文化財関係者の専門的・技術的な研修及び指導
- 5 埋蔵文化財保護思想の普及及び啓発

令和6年度は以下に記載する事業を実施した。

1 埋蔵文化財記録保存のための発掘調査

(1) 発掘調査

国・県事業に伴う試掘・確認調査及び発掘調査を実施している。本年度は城川遺跡（宮崎市）、東畦原第1遺跡（新富町）の2か所で本調査を実施した。

【発掘調査一覧】

遺跡名	所在地	主な時代	主な遺構	調査期間	調査担当者	調査原因
			主な遺物	調査面積		
1 城川遺跡	宮崎市大字 島之内	古墳時代 ～中世	竪穴建物跡、掘立 柱建物跡	R6.8.26～R7.3.10 (実調査日数110日)	川嶋信平 加藤真理子 留野優兵	高等特別支援 学校整備
			土師器、須恵器、陶磁 器、石器	2,500㎡		
2 東畦原 第1遺跡	新富町大字 新田	旧石器・ 縄文時代	礫群	R6.5.27～R6.12.6 (実調査日数105日)	小山輝晃 小吹雅史 藤木聡 木村哲弥 小川雄太郎	新富スマート IC(仮称)建設
			縄文土器、旧石器	4,054.14㎡		

(2) 発掘調査に伴う調査指導及び職員の資料調査

慎重な比較検討を要する遺跡の調査を実施するにあたって、調査方法等の指導を受けるため各分野の研究者を招聘している。また、職員を派遣し、位置づけの明確でない遺構や遺物について調査を行うものである。

【調査指導】

日程	場所（遺跡）	所属・氏名	指導内容
1 R6.11.25～27	和田越台場群ほか	中原 幹彦 氏	西南戦争関連遺構・遺物の分析視点および同定等 について
2 R7.1.20～22	埋蔵文化財センター	山本 達也 氏	西南戦争関連遺物の同定等について

【資料調査】

日程	出張先	出張者	目的
令和6年度は実施せず	-	-	-

(3) 出土遺物等整理及び発掘調査報告書の刊行

埋蔵文化財センターでは、発掘調査した遺物等の水洗・注記から実測・製図までの整理を行い、発掘調査報告書を作成している。本年度整理を実施した遺跡は1遺跡で、内訳は河川改良事業1遺跡である。なお、本年度は整理作業の終了した1遺跡の発掘調査報告書を刊行した。

【出土遺物等整理対象遺跡一覧】

遺跡名	事業名	事業者
1 田宮遺跡	五ヶ瀬川・大瀬川適正分派事業（天下地区）	国土交通省延岡河川国道事務所

【発掘調査報告書刊行一覧】

No.	遺跡名	副書名	執筆・編集者
1 270	田宮遺跡	五ヶ瀬川・大瀬川適正分派事業（天下地区）に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	守部丘大

(4) 近代宮崎の出発点 西南戦争関連遺跡調査・活用事業(文化庁補助事業)

令和5年度から3か年事業で本県の西南戦争（明治10年、1877年）関連遺跡について所在地や現況の把握と、国史跡指定に必要なデータ取得を目的とする確認調査を実施している。また、市町村教育委員会・学校・地域住民との連携により関連遺跡の保存・継承を図るため、遺跡の所在する市町村での展示会や講座を計画する等、教育普及活動も行っている。令和6年度は都城市立高崎麓小学校において児童および地域住民を対象とした出前講座（令和7月2月3日）を実施した。

① 西南戦争関連遺跡の悉皆調査

令和6年度は、台場22基、墓・慰霊碑等50基、その他（激戦地等）3か所の悉皆調査を行った。

【悉皆調査一覧(台場)】

市町村名	名称	基数	調査担当者
1 延岡市	和田越台場群	12	
2 日之影町・美郷町	九左衛門峠台場群	3	堀田孝博
3 美郷町	吉野宮北尾根台場群	2	中島寛
4 都城市	陣ヶ岡山台場群	4	上野哲矢
5 都城市	高東山台場	1	

【悉皆調査一覧(墓・慰霊碑等)】

市町村名	名称	基数	調査担当者
1 延岡市	土方雄基之墓、川路勇夫之塚、西南役烈士之墓	3	
2 川南町	薩摩隼人之塚	1	
3 高鍋町	水町實武之墓、泥谷小源太墓、阪田諸美遺物之墓	3	
4 宮崎市	忠烈碑	1	堀田孝博
5 国富町	招魂之碑	1	中島寛
6 高原町	田口長富墓	1	上野哲矢
7 都城市	肥田木覺介墓、弓削肝墓、小山秀静墓	3	
8 日南市	佐師徳被之墓	1	
9 串間市	西南戦争戦没者墓地、山下鑄十郎之墓、吉田織衛之墓	36	

【悉皆調査一覧(その他)】

市町村名	名称	基数	調査担当者
1 延岡市	菅原洞穴	1	堀田孝博
2 門川町	辺見十郎太奮戦の地	1	中島寛
3 都城市	旧谷川墓地	1	上野哲矢

② 西南戦争関連遺跡の確認調査

令和6年度は、以下の台場等の確認調査を実施した。

【確認調査一覧】

遺跡名	所在地	主な時代	主な遺構	調査期間	調査面積	調査担当者
1 和田越台場群 10・58・60号	延岡市無鹿町・大峽町	近代	台場	R6.11.5~R7.3.14 (実調査日数20日)	8.5 m ²	堀田孝博 中島寛 上野哲矢

③ 西南戦争関連遺跡の測量調査

令和6年度は、以下の台場等の測量調査を実施した。

【測量調査一覧】

遺跡名	所在地	主な時代	主な遺構	調査期間	調査面積	調査担当者
1 和田越台場群 60・62号	延岡市大峽町	近代	台場	R6.11.20~R6.12.17 (実調査日数5日)	-	堀田孝博 中島寛 上野哲矢

(5) 保存処理

普及資料課及び調査課では、出土した金属製品や木製品について保存処理を行っている。令和6年度は鉄器119点の処理を行った。

遺跡名	主な器種	保存処理
1 和田越台場群 九左衛門峠台場群ほか	薬莖、銃弾、銭貨等	土落とし・仮接合まで実施

(6) 収蔵整理

① 収蔵庫(分館)

分館収蔵庫には登録を完了した遺物や登録作業途中・待機中の遺物を収蔵している。令和6年度は、登録作業によりコンテナ22箱の圧縮となり、登録を完了した遺物と登録待機中の遺物を併せたコンテナ総数が7,228箱となった。

② 収蔵庫(本館)

新収蔵庫には主に本館で整理作業の終了した遺物や登録待機遺物を収蔵している。令和6年度はコンテナ26箱を搬入した。また、東九州自動車道関連の調査で出土した礫の整理を行い20箱の圧縮となった。よって、本館の収蔵量はコンテナ15,078箱となった。

③ 登録作業

分館における令和6年度の実績は、3遺跡、コンテナ91箱である。登録累計304遺跡、登録済みコンテナ6,800箱となった。本館における同年度の実績は、1遺跡、コンテナ26箱であり、登録累計119遺跡、コンテナ4,185箱となった。よって、令和6年度の本館と分館を合わせた登録収蔵総累計は、423遺跡、コンテナ10,985箱である。

④ 図書資料

全国から送られてくる発掘調査等の報告書や購入書籍・雑誌類を図書室に集架している。令和6年度は1,388冊の受け入れがあり、合計収蔵数は88,588冊になる。図書管理システムによる図書資料の登録と、バーコードによる貸出・返却管理を行っている。

2 教育普及活動

令和6年度の教育普及事業は、移動展示会「ふるさとの遺跡再発見」(文化庁補助事業)、埋文講座(年5回)、遺跡発掘成果展2024「東九州自動車道118遺跡 清武～西都編」、施設公開、分館展示のほか、出前講座等のアウトリーチ活動を実施した。令和6年度の分館入館者は6,312名であった。

(1) 移動展示会「ふるさとの遺跡再発見」(文化庁補助事業)

埋蔵文化財センターが開発に先立って行った発掘調査の成果を地域に還元するため、地元から出土した遺物を用いて、県内の各地域で移動展示会を行っている。令和6年度は3会場で実施し、遺物の展示のほか体験講座やふるさとの遺跡学習会、会場ごとのリーフレット作成などを通して、地元の歴史や文化財に親しむ機会を提供している。

① 名称：移動展示会『ふるさとの遺跡再発見』

② 主催：埋蔵文化財センター

③ 共催：高千穂町、高千穂町教育委員会、都城市教育委員会、国富町、国富町教育委員会

④会場・会期

	会場	会期
高千穂会場	高千穂町コミュニティセンター (歴史民俗資料館)	令和6年7月10日(水)～8月8日(木) (展示日数30日間)
山之口会場	都城市山之口総合支所	令和6年10月1日(火)～10月27日(日) (展示日数27日間)
国富会場	国富町総合文化会館	令和7年2月1日(土)～2月27日(木) (展示日数23日間)

⑤関連行事

○体験講座

各会場では体験講座(石器レプリカ製作、土器文様拓本体験、土器パズル、石斧体験、紡錘車体験等)、展示資料解説等を行った。

会場	開催日	時間
高千穂会場	令和6年8月4日(日)	①10:00～12:00 ②13:00～15:00
山之口会場	令和6年10月20日(日)	①10:00～12:00 ②13:00～15:00
国富会場	令和7年2月9日(日)	①10:00～12:00 ②13:00～15:00

○ふるさとの遺跡学習会

移動展示会を行った地域の学校にて、近隣の遺跡から出土した遺物の展示・解説、石器レプリカ作り等の体験活動、発掘現場とのオンライン中継等を行い、ふるさとの歴史について学ぶ機会を提供した。

会場	学校名	対象者
令和6年6月28日(金)	都城市立木之川内小学校	全校児童
令和6年7月17日(水)	高千穂町立田原小学校	全校児童
令和6年7月17日(水)	高千穂町立高千穂小学校	小学6年生
令和6年7月18日(木)	高千穂町立押方小学校	全校児童
令和6年9月29日(日)	都城市立高崎小学校	小学4年生、保護者
令和6年11月29日(金)	都城市立丸野小学校・木之川内小学校	小学6年生
令和7年2月20日(木)	国富町立本庄小学校	小学6年生

⑥観覧者数

3会場合計 展示日数80日

総観覧者数：7,875名(体験講座総参加者数を含む)

体験講座総参加者数：137名 ふるさとの遺跡学習会総参加者数：335名

会場	展示期間	総観覧者数	体験講座参加者	ふるさとの遺跡学習会参加者
高千穂会場	30日間	704名	48名	139名
山之口会場	27日間	6,925名	47名	144名
国富会場	23日間	246名	42名	52名



展示会場（高千穂会場）



展示会場（山之口会場）



展示会場（国富会場）

(2) 埋文講座

近年発掘調査報告書を刊行した遺跡の最終成果報告講座及び発掘調査関連講座を年5回（5・6・8・12・1月）分館研修室にて実施した。また、参加者を増やす取り組みとして、SNS等を活用した広報活動やわかりやすい資料の作成等に取り組み、156名の参加者があった。

開催日	講演名	講師	参加者
1 R6.5.19	「斜面の歴史と少し新しい調査記録の話」 樋口遺跡（五ヶ瀬町）	埋蔵文化財センター 留野優兵	20名
2 R6.6.23	「盆地統一『都城』～都城の成り立ちと発掘調査結果～」 都城（鶴丸城）跡（都城市）	埋蔵文化財センター 小吹雅史	29名
3 R6.8.25	「激戦、大台場 ～西南戦争 日之影大楠の戦い～」 西南戦争関連遺跡調査・活用事業	埋蔵文化財センター 上野哲矢	47名
4 R6.12.15	「九州唯一の逸品 ～山崎上ノ原第1遺跡で出土した『特殊扁壺』～」	埋蔵文化財センター 和田理啓	20名
5 R7.1.19	宮崎平野の形成過程から考える段丘発達と遺跡の立地	埋蔵文化財センター 松田清孝	40名

(3) 埋文センター施設公開・体験講座

例年、埋蔵文化財センターの事業のPRと埋蔵文化財保護啓発の目的で「施設公開」を開催している。本年度は、文化財保護強調週間中の11月4日（月）に「埋文センターで“ホンモノ”体験」と題して分館において開催した。

【施設公開「埋文センターで考古学体験」】

開催日	開催場所	内容	参加者
1 R6.11.4	埋蔵文化財センター分館	バックヤード見学、土器復元体験、土器拓本体験、発掘疑似体験、石器レプリカ製作、ドングリつぶし体験、石斧体験、紡錘車体験等	451名



発掘疑似体験



バックヤード見学(遺物見学)



土器拓本体験・紡錘車体験等

(4) 遺跡発掘成果展 2024・遺跡発掘速報会

埋蔵文化財センターが東九州自動車道の建設に伴い発掘調査を行った遺跡の資料を展示する遺跡発掘成果展 2024「東九州自動車道 118 遺跡 清武～西都編」を県立図書館 2 階特別展示室で開催し、展示期間中に関連講座（ギャラリートーク）を開催した。また、同講座 2 回目と同日に県立図書館 2 階視聴覚室で遺跡発掘速報会を実施した。

【遺跡発掘成果展 2024・関連講座】

開催日	内容	参加者
1 R7.2.19～R7.3.9	下星野遺跡、権現原第 1 遺跡、白ヶ野第 2・3 遺跡、本城跡、内宮田遺跡、柳迫遺跡、迫内遺跡、町屋敷遺跡、倉岡第 2 遺跡、別府原遺跡、平田迫遺跡、宮ノ東遺跡、上ノ原遺跡、下屋敷遺跡、長藪原遺跡	753 名
2 R7.2.23	ギャラリートーク：東九州自動車道 118 遺跡 展示解説	6 名
3 R7.3.2	ギャラリートーク：東九州自動車道 118 遺跡 展示解説	21 名

【遺跡発掘速報会】

開催日	内容	参加者
1 R7.3.2	田宮遺跡、城川遺跡、東畦原第 1 遺跡	32 名

(5) 分館テーマ展示

分館の展示室において、埋蔵文化財センターがこれまでに発掘調査を行った遺跡について、遺跡ごとに出土遺物を紹介するテーマ展示を年 4 回行った。埋文講座や遺跡発掘成果展等の事業との連携を図って構成した。

(6) 出前展示

発掘調査で県内各地から出土した遺物等を各地域で展示し、発掘の成果を公開している。合わせて埋蔵文化財センターの業務内容についての紹介も行っている。

開催期間	名称	場所	内容	観覧者
1 R6.10.13	埋蔵文化財センター事業紹介 「埋蔵文化財センターってなあに？」	イオンモール宮崎	埋蔵文化財センターの紹介・ 体験講座	300名
2 R7.1.25~ 1.26	広瀬西小校区芸能文化まつり	佐土原総合文化 センター	埋蔵文化財センターの紹介・ 遺物展示・体験講座	811名

(7)出前講座

生涯学習団体や学校等からの依頼に応じて、埋蔵文化財センター職員が県内各地に向いて行う出張講座を実施している。それぞれの地域の遺跡や遺物の展示・解説、遺物に触れる体験、埋蔵文化財センターの業務紹介等を行った。令和6年度は32件※（総参加者数1,652名）の講座を実施した。

※ふるさとの遺跡学習会（7件）及び西南戦争関連遺跡調査・活用事業（1件）を含めた件数。

開催日	学校名・機関名	対象	内容	観覧者
1 R6.5.22	川南町放課後子ども教室（通山地区コミュニティセンター）小学生	小学生	地域の遺跡紹介・遺物展示・解説 各種体験講座	20名
2 R6.5.24	宮崎市立恒久小学校 小学6年生	小学生	地域の遺跡紹介・遺物展示・解説 各種体験講座	89名
3 R6.5.29	川南町放課後子ども教室（東地区コミュニティセンター）小学生	小学生	地域の遺跡紹介・遺物展示・解説 各種体験講座	14名
4 R6.6.4	宮崎市立生目小学校 小学6年生	小学生	地域の遺跡紹介・遺物展示・解説 古墳のAR体験講座	103名
5 R6.6.13	高鍋町立高鍋西小学校 小学6年生	小学生	分館・宮崎県総合博物館とのオンライン中継（施設紹介）	75名
6 R6.6.17	高鍋町立高鍋西小学校 小学6年生	小学生	地域の遺跡紹介・遺物展示・解説	35名
7 R6.6.18	門川町立草川小学校	小学生	地域の遺跡紹介・遺物展示・解説・ 分館とのオンライン中継	66名
8 R6.6.22	日南市立桜ヶ丘小学校（家庭教育学級） 児童・保護者	小・中学生 保護者	地域の遺跡紹介・遺物展示・解説・ 各種体験活動	36名
9 R6.6.26	川南町放課後子ども教室（川南地区コミュニティセンター）小学生	小学生	地域の遺跡紹介・遺物展示・解説・ 各種体験活動	23名
10 R6.6.27	川南町立通山小学校 小学6年生	小学生	地域の遺跡紹介・遺物展示・解説・ 分館とのオンライン中継	26名
11 R6.6.28	都城市立木之川内小学校 全校児童 （ふるさとの遺跡学習会）	小学生	地域の遺跡紹介・遺物展示・解説 各種体験活動・分館とのオンライン中継	47名
12 R6.7.3	川南町放課後子ども教室（山本地区コミュニティセンター）小学生	小学生	地域の遺跡紹介・遺物展示・解説・ 各種体験活動	23名
13 R6.7.10	綾町立綾中学校	中学生	地域の遺跡紹介・遺物展示・解説・ 分館とのオンライン中継	79名
14 R6.7.10	川南町放課後子ども教室（多賀地区コミュニティセンター）小学生	小学生	地域の遺跡紹介・遺物展示・解説・ 各種体験活動	13名

15	R6.7.11	宮崎市立田野小学校	小学生	地域の遺跡紹介・遺物展示・解説	114名
16	R6.7.17	高千穂町立田原小学校 全校児童 (ふるさとの遺跡学習会)	小学生	地域の遺跡紹介・遺物展示・解説 各種体験活動	38名
17	R6.7.17	高千穂町立高千穂小学校 小学6年生 (ふるさとの遺跡学習会)	小学生	地域の遺跡紹介・遺物展示・解説 各種体験活動	65名
18	R6.7.18	高千穂町立押方小学校 全校児童 (ふるさとの遺跡学習会)	小学生	地域の遺跡紹介・遺物展示・解説 各種体験活動	36名
19	R6.7.30	日南市教育委員会 小・中学校学力向上支援事業「処平塾」	小・中学生	地域の遺跡紹介・遺物展示・解説 各種体験活動	12名
20	R6.8.10	高鍋高校OB祭	一般	遺物展示・体験活動(石器レプリカ作り)	178名
21	R6.8.23	日南市立東郷小学校(児童クラブ)	小学生	地域の遺跡紹介・遺物展示・解説・ 各種体験活動	35名
22	R6.9.13	宮崎市立学園木花台小学校 小学6年生	小学生	地域の遺跡紹介・遺物展示・解説	58名
23	R6.9.29	都城市立高崎小学校 小学4年生 保護者 (ふるさとの遺跡学習会)	小学生	地域の遺跡紹介・遺物展示・解説	57名
24	R6.11.9	こゆ地域づくり推進機構(物見遊山)	一般	各種体験活動	146名
25	R6.11.29	都城市立丸野小学校、木之内川内小学校 小学6年生(ふるさとの遺跡学習会)	小学生	地域の遺跡紹介・遺物展示・解説 露頭(地層)見学	40名
26	R6.12.7	広瀬西小校区地域づくり推進委員会	一般	地域の遺跡紹介・遺物展示・解説・ 各種体験活動	29名
27	R6.12.16	県立明星視覚支援学校	中・高等部	遺跡紹介(城川遺跡)・遺物展示・ 解説・各種体験活動	28名
28	R6.12.19	久峰中校区活動センター	一般	地域の遺跡紹介・遺物展示・解説・ 各種体験活動・発掘現場とのオンライン中継	19名
29	R7.1.26	広瀬西小校区芸能文化まつり(宮崎市立広瀬西小学校)	小学生	石器レプリカ作り	50名
30	R7.2.3	都城市立高崎麓小学校 全校児童 (西南戦争関連遺跡調査・活用事業)	小学生	ふるさとの歴史(西南戦争と高崎麓小学校)・地域の遺跡紹介・遺物展示・解説・西南戦争関連遺跡とのオンライン中継	24名
31	R7.2.12	県立みやざき中央支援学校	中学部	遺跡紹介(城川遺跡)・遺物展示・ 解説・各種体験活動	22名
32	R7.2.20	国富町立本庄小学校 小学6年生 (ふるさとの遺跡学習会)	小学生	地域の遺跡紹介・遺物展示・解説 各種体験活動・発掘現場とのオンライン中継	52名

(8) 現地説明会、インターンシップ・職場体験の受け入れ

発掘調査中の遺跡を県民の方に見学していただく現地説明会を実施した。

【現地説明会】

	開催日	遺跡名	開催地	内容	対象	参加者
1	R6.7.30	東畦原第1遺跡	新富町	遺跡の概要、遺構・遺物の説明	NEXCO 西日本	20名
2	R6.12.16	城川遺跡	宮崎市	遺跡の概要、遺構・遺物の説明	県立明星視覚支援学校	28名
3	R7.2.13	城川遺跡	宮崎市	遺跡の概要、遺構・遺物の説明	県立みやざき中央支援学校	22名
4	R7.2.16	城川遺跡	宮崎市	遺跡の概要、遺構・遺物の説明	一般	34名

【発掘体験】

	開催日	遺跡名	開催地	内容	対象	参加者
1	R6.7.30	東畦原第1遺跡	新富町	発掘体験	NEXCO 西日本	20名
2	R7.2.6	城川遺跡	宮崎市	発掘体験	宮崎市立広瀬中学校	4名

【インターンシップ】

	期間	場所	内容	対象	参加者
1	R6.8.26～ R6.8.27	埋蔵文化財センター 本館・分館	埋蔵文化財センターの業務体験 展示作業補助業務	大学生	2名

【職場体験】

	開催日	遺跡名	内容	対象	参加者
1	R7.2.5～ R7.2.6	埋蔵文化財センター 本館	埋蔵文化財センターの業務体験	中学生	4名

(9)見学・研修等で分館を訪れた団体

	実施日	団体名	内容	人数
1	R6.5.9	小林市立小林小学校	展示見学・展示物解説	91名
2	R6.5.12	宮崎考古学会	研修	25名
3	R6.5.17	延岡市立上南方小学校	展示見学・展示物解説	38名
4	R6.5.25	宮崎地質研究会	研修	10名
5	R6.6.25	NEXCO 西日本	展示見学・展示物解説	12名
6	R6.7.6	宮崎地質研究会	研修	10名
7	R6.7.13	宮崎大学附属小学校	展示見学・各種体験活動	147名
8	R6.7.25	なでしこ児童クラブ	展示見学・各種体験活動	82名

9	R6.7.29	ファルケホイスコーレ児童クラブ早鈴・若葉	展示見学・展示物解説	55名
10	R6.8.7	放課後等デイサービス なないろ	展示見学・各種体験活動	26名
11	R6.8.8	放課後等デイサービス まーぶるクラブ	展示見学・各種体験活動	20名
12	R6.8.23	のぞみ保育園	展示見学・各種体験活動	39名
13	R6.8.31	宮崎地質研究会	研修	9名
14	R6.9.28	宮崎地質研究会	研修	8名
15	R6.10.4	埋蔵文化財担当専門職員研修会	研修	26名
16	R6.10.16	絵手紙の会	展示見学・土器のスケッチ	7名
17	R6.10.23	小林市立須木小学校	地域の遺跡・各種体験活動	10名
18	R6.10.31	小林市立西小林小学校	展示見学・展示物解説	38名
19	R6.11.8	宮崎市立生目台西小学校	展示見学・各種体験活動	27名
20	R6.11.16	宮崎民俗学会	研修	4名
21	R6.11.21	宮崎市立大宮中学校	展示見学・展示物解説	170名
22	R6.12.8	宮崎大学学芸員課程	研修	37名
23	R6.12.14	宮崎地質研究会	研修	9名
24	R6.12.26	放課後デイサービス おひさま SUNNY	展示見学・各種体験活動	10名
25	R7.1.26	宮崎考古学会	研修	7名
26	R7.2.1	宮崎地質研究会	研修	10名
27	R7.2.11	放課後デイサービス おひさま SUNNY	展示見学・各種体験活動	10名

(10)資料等の提供

埋蔵文化財センターでは、一般や公共機関、研究機関、研究者の利用希望に応じて、可能な限り資料を提供している。資料提供には資料調査等に係る館内利用（資料の閲覧・実測等）や館外貸出及び掲載許可申請があり、令和6年度は館内利用18件、館外貸出14件、掲載許可8件であった。

【館内利用】

利用日	遺跡名	利用資料名	利用目的
1 R6.4.15~R6.4.16	沖田貝塚、菅原洞穴、岩土原遺跡	土器・石器	資料調査
2 R6.4.22~R6.4.24	別府原遺跡、高野原第5遺跡、向原第1遺跡、 虚空蔵免遺跡、中ノ迫第2遺跡、尾花A遺跡、 小迫遺跡	土器	資料調査
3 R6.6.6~R6.6.7	阿蘇原上遺跡、八幡第2遺跡、赤石・天神本遺跡、 国光原遺跡、尾花A遺跡、堂地西遺跡、木脇遺跡、 塚原遺跡、塚原遺跡G・H・I・J地点、小迫遺跡	土器	資料調査
4 R6.6.24	岩土原遺跡	土器	資料調査

5	R6.6.29	平田迫遺跡、山之城跡	土師器・須恵器・陶磁器	資料調査
6	R6.7.19	竹ノ内遺跡、白ヶ野第2・3遺跡、五ヶ村遺跡、北牛牧第5遺跡、尾花A遺跡	石器	資料調査
7	R6.8.26	駄小屋遺跡、森ノ上遺跡、山田遺跡、野首第2遺跡、木脇遺跡、別府原遺跡、白ヶ野第2・3遺跡	土器	資料調査
8	R6.9.1~R6.9.2	山田遺跡、矢野原遺跡	石器	資料調査
9	R6.10.19~R6.10.20	春日地区遺跡第2地点、赤木遺跡第8地点(一次、二次、三次)、前ノ田村上第2遺跡、野首第2遺跡、山ノ口原遺跡、矢野原遺跡	石器	資料調査
10	R6.11.7	下大五郎遺跡、古城遺跡、山崎下ノ原第1遺跡	勾玉・管玉・ガラス製小玉	資料調査
11	R6.11.14~R6.11.15	山田遺跡	石器	資料調査
12	R6.11.30~R6.12.1	赤木遺跡第8地点(一次、二次、三次)、駄小屋遺跡、林遺跡4次C・D区、吉野第2遺跡A地点、中ノ迫第1遺跡(1次、2次)、前ノ田村上第2遺跡、野首第2遺跡、牧内第1・2遺跡、東畦原第2遺跡、勘大寺遺跡、長藪原遺跡、下屋敷遺跡	石器	資料調査
13	R6.12.6	白ヶ野第2・3遺跡、堂地西遺跡	土器	資料調査
14	R6.12.17~R6.12.18	矢野原遺跡	石器	資料調査
15	R7.1.11	下耳切第3遺跡	土器	資料調査
16	R7.2.15	学頭遺跡、八見遺跡	石鍋	資料調査
17	R7.3.3~R7.3.6	山田遺跡	石器	資料調査
18	R7.3.10	妙見遺跡、内屋敷遺跡、白ヶ野第2・3遺跡	土器	資料調査

【館外貸出】

期間	遺跡名	貸出資料名	数量	目的	貸出機関名
1 R6.4.1~ R7.3.31	野添遺跡	ササゲ属種子炭化物、クリ種子炭化物	30	文化交流展示「海の道、アジアの路」(平常展)に 展示	九州国立博物館
2 R6.4.15~ R6.4.16	学習キット(弥生)		43	大学の講義で使用	南九州大学
3 R6.4.22~ R6.4.23	学習キット(旧石器)		75	大学の講義で使用	南九州大学
4 R6.5.6~ R6.5.7	学習キット(縄文)		100	大学の講義で使用	南九州大学
5 R6.5.15~ R6.8.8	上ノ原遺跡、銀座第2遺跡、宮ノ東遺跡、曾井第2遺跡、塩見城跡	陶器、磁器、石製品	7	歴史常設展示室におけるトピック展示	宮崎県総合博物館
6 R6.5.27~ R6.5.28	学習キット(弥生)		43	大学の講義で使用	南九州大学

7	R6.6.17~ R6.6.18	学習キット（古墳）		21	大学の講義で使用	南九州大学
8	R6.7.4~ R6.7.9	学習キット（縄文・弥生）		143	授業で使用	新富町立上新田小学校
9	R6.7.16~ R6.11.29	筆無遺跡、大浦遺跡、池島遺跡	土師器、磁器、刀子	15	都城歴史資料館企画展「大島島田遺跡と郡元西原遺跡」における展示	都城市教育委員会
10	R6.7.30~ R6.8.1	学習キット		6	職員研修で使用	宮崎市立田野小学校
11	R6.8.13~ R6.12.27	平畑遺跡、学頭遺跡、田代ヶ八重遺跡、荒迫遺跡、上の原第1遺跡、竹ノ内遺跡、白ヶ野第2・3遺跡、上ノ原遺跡、別府原遺跡、春日地区遺跡第2地点、五ヶ村遺跡、北牛牧第5遺跡、下耳切第3遺跡、唐木戸第4遺跡、野首第2遺跡、尾花A遺跡、森ノ上遺跡、内野々第4遺跡、岡遺跡、駄小屋遺跡、保木島遺跡	石製品、土器、土製品	63	県立西都原考古博物館開館20周年記念特別展 展示会Ⅱ「土偶の美と縄文の美～東北日本と九州」に展示	県立西都原考古博物館
12	R6.11.1~ R7.1.31	志戸平遺跡 下那珂遺跡 向原第1遺跡 高鍋城三ノ丸跡	木製品 土器、石器 種子 木製品	10	歴史常設展示室におけるトピック展示	宮崎県総合博物館
13	R6.11.28~ R7.3.31	下大五郎遺跡 古城遺跡、熊野原遺跡、宮ノ前第2遺跡 山崎下ノ原第1遺跡	土製品 石製品 ガラス製品	176	令和6年度展示会Ⅲ「美と権の装身具～玉が映した宮崎の古墳文化～」に展示	県立西都原考古博物館
14	R7.2.26~ R7.2.28	学習キット（旧石器、縄文、弥生、古墳）		233	家庭教育学級で活用	西都市立三財小中学校

【刊行物等掲載(写真等資料提供)】

申請日	資料名	掲載刊行物等	依頼者
1	R6.5.22 田宮遺跡 田宮遺跡（現地説明会資料）	文化財発掘出土情報（7月号）	（株）ジャパン通信情報センター
2	R6.6.17 山内石塔群 I・II区の遠景	「石の歴史・文化事典」紙版・電子版への掲載	（株）朝倉書店

3	R6.7.5	上ノ原遺跡	剥片尖頭器、ナイフ形石器、搔器、 削器、錐状石器	児童向け学習図鑑「科学でさ ぐる日本人の図鑑」への掲載	(株) 本作り 空 Sola
4	R6.8.9	下那珂遺跡	弥生土器片	歴史常設展示室でのトピッ ク展示における解説パネル への掲載	宮崎県総合博物館
		志戸平遺跡	ナスビ形木製品		
		向原第1遺跡	イネ果実		
5	R6.9.11	上の原第2遺跡	竪穴住居跡(8~12号・14号)	「地方史みやざき」第69号 に掲載したものをPDF化し HP上で公開	宮崎県地方史研究 連絡協議会
		塚原遺跡	環濠集落の溝状遺構(SE4完掘状況) 溝状遺構(SE5出土木製品)		
6	R6.11.22	塚原遺跡	縄文時代 草創期 土器片	令和7年度出版予定の「彩色 土器の考古学的研究」への掲 載	個人
7	R6.12.4	塩見城跡	出土遺物(瓦)	論文「先史学・考古学論究IX」 への掲載	個人
		高鍋城跡			
8	R6.12.18	飢肥城下町遺跡	備前系徳利	総合博物館研究紀要(第45輯) への掲載	宮崎県総合博物館

(11)職員派遣

市町村の教育委員会等に埋蔵文化財等の専門的・技術的な指導を行い、諸機関・団体主催講演会等の普及啓発行事にも職員を派遣している。

	派遣期日	依頼者	内容	派遣職員
1	R6.5.8,22	延岡市教育委員会	延岡市史編纂関連用務	谷口武範 堀田孝博 藤木聡
	R6.6.26,27			
	R6.7.18			
	R6.10.3			
	R7.3.13,14,18			
2	R6.7.25	九州高等学校地理教育研究会	第23回研究大会(宮崎大会)講演・青島 地区調査講師	松田清孝
	R6.8.23 R6.10.23			
3	R6.12.25	宮崎市教育委員会	宮崎市史編纂関連用務	藤木聡
	R7.1.17			
	R7.2.10,18,19			
4	R6.10.24	県立宮崎西高等学校・県立宮 崎西高等学校附属中学校	宮崎西高等学校・宮崎西高等学校附属中 学校国際交流プログラム研修講師	松田清孝
5	R6.12.10,11	(公財)愛媛県埋蔵文化財セ ンター	別名端谷I遺跡2次調査(愛媛県)出土遺 物整理に関する指導	藤木聡
6	R7.2.9	県立西都原考古博物館	令和6年度展示会Ⅲ関連講座講師	藤木聡

(12)埋蔵文化財担当専門職員研修会

埋蔵文化財センターでは、発掘調査技術等の向上をめざし、県及び市町村埋蔵文化財担当専門職員を対象とした研修会を実施している。令和6年度は、文化財の活用における各種イベントの企画運営や広報活動について、各機関における具体的な取組事例を紹介し、職員間の情報共有や今後の展開に資するものとした。

実施日	場所	講師	内容	参加者
1 R6.10.4	埋蔵文化財センター分館	宮崎市教育委員会 秋成雅博氏 甲斐香代氏 宮崎県総合博物館 竹下隼人氏 埋蔵文化財センター 佐土瀬英嗣	「文化財イベントの企画運営と広報・普及活動の実際」	26名

(13)広報出版物

埋蔵文化財センターの「年間行事案内」及び「埋文通信」の発行を行うとともに、移動展示会、施設公開等についてもポスターやチラシ、資料等の作成を行った。

発行年・月	広報出版物
1 R6.5	『宮崎県埋蔵文化財センター 年報』第28号 令和5(2023)年度
2 R7.3	令和7年度宮崎県埋蔵文化財センター年間行事案内「イベントカレンダー」
3 R7.3	宮崎県埋蔵文化財センター通信「ひむか」27号

(14)研究紀要

職員の研究活動をWEB上で公開している。令和6年度は7本の報告を掲載した。

宮崎県埋蔵文化財センター研究紀要第10集

【論文・研究ノート】

埋蔵文化財関係統計資料から見る宮崎県の埋蔵文化財行政	飯田 博之
沖田貝塚について-沖田貝塚調査履歴および採集資料から-	柴畑 光博 ・ 谷口 武範
弥生時代の扁平片刃石斧が副葬された横穴墓	藤木 聡
船塚小考-墳丘企画を中心に-	和田 理啓

【資料集成・紹介】

上の原第2遺跡出土の縄文時代の石製品	木村 哲弥
【遺物紹介】築池遺跡竪穴建物跡出土の遺物について	加藤真理子
熊野原遺跡・前原北遺跡・陣ノ内遺跡出土の弥生時代から平安時代の貝類	小吹 雅史

(15)ホームページ・SNS

施設公開、埋蔵文化財講座、成果展、出前講座等の教育普及事業の広報を、ホームページや SNS を通じて行った。また、整理作業員や発掘作業員等の会計年度任用職員の募集や資料の貸出、発掘調査の状況等を発信し、ホームページや SNS の活用を推進した。

3 会議・職員研修

(1)各種会議等への参加

全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会などの各種会議等に職員を派遣し、職員の資質向上と業務の円滑な推進を図っている。

日程	内容	開催地	出席者
1 R6.5.30~31	令和6年度全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会総会	岩手県盛岡市	飯田博之
2 R6.6.7	令和6年度宮崎県博物館等協議会総会・第1回研修会	宮崎県宮崎市	筒井克彦
3 R6.7.22~26	奈良文化財研究所専門職員研修	オンライン参加	留野優兵
4 R6.8.1~2	令和6年度第1回埋蔵文化財保護対策等九州地区協議会	沖縄県那覇市	藤木聡
5 R6.8.6~7	古代歴史文化協議会第18回研究集会	鳥取県鳥取市	甲斐貴充
6 R6.9.18~19	令和6年度埋蔵文化財担当職員等講習会	オンライン参加	飯田博之・谷口武範・松林豊樹・和田理啓・甲斐貴充・藤木聡
7 R6.10.30	令和6年度宮崎県博物館等協議会第2回研修会	宮崎県都城市	佐土瀬英嗣
8 R6.11.13	令和6年度宮崎県地方史研究連絡協議会研修会	宮崎県日南市	筒井克彦
9 R6.11.28~29	令和6年度全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会中国・四国・九州ブロック会議	岡山県倉敷市	松林豊樹
10 R6.12.8	第7回古代歴史文化研究協議会講演会	東京都千代田区	甲斐貴充
11 R7.2.6~7	令和6年度第2回埋蔵文化財保護対策等九州地区協議会	大分県大分市	藤木聡

(2)共同研究への参加

所外の研究者や機関等が主催する共同研究へ職員が参加するものである。

日程	内容	参加者
令和6年度は該当者なし	-	-

(3)労働安全衛生関係の講習会等への参加

発掘調査現場及び埋蔵文化財センター内での安全衛生の増進を図るため、以下の各講習会等へ参加している。

日程	内容	参加者
1 R6.4.16~17	安全衛生推進者養成講習	木村哲弥・小川雄太郎・中島寛
2 R6.4.23	救急救命講座 (心肺蘇生法・AED 操作法・応急手当)	飯田博之・瀬之口博行・松林豊樹・平井祥蔵・河野由芽・ 米良ふたば・小山輝晃・木村哲弥・川嶋信平・守部丘大・ 小川雄太郎・留野優兵・中島寛・上野哲矢・佐土瀬英嗣・ 松羅紀子
3 R6.4.26	足場の組立等特別教育	木村哲弥・小川雄太郎
4 R6.5.16	刈払機取扱作業安全衛生教育	小川雄太郎・中島寛
5 R6.6.11~13	第一種衛生管理者受験準備講習	留野優兵
6 R6.6.25	熱中症予防指導員・管理者研修	木村哲弥・小川雄太郎・中島寛

IV 宮崎県埋蔵文化財センター管理規則

平成8年3月29日教育委員会規則第5号改正

平成12年1月20日教育委員会規則第1号
平成12年3月31日教育委員会規則第8号
平成12年12月18日教育委員会規則第21号
平成18年3月30日教育委員会規則第9号
平成19年3月30日教育委員会規則第3号
平成20年3月31日教育委員会規則第6号
平成26年3月27日教育委員会規則第2号
令和2年3月30日教育委員会規則第9号
令和5年3月30日教育委員会規則第6号
令和6年4月1日教育委員会規則第3号

宮崎県埋蔵文化財センター管理規則をここに公布する。

宮崎県埋蔵文化財センター管理規則

(趣旨)

第1条 この規則は、別に定めるもののほか、宮崎県埋蔵文化財センター及び宮崎県埋蔵文化財センター分館(以下「埋蔵文化財センター」という。)の管理運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(事業)

第2条 埋蔵文化財センターは、次に掲げる事業を行う。

- (1) 埋蔵文化財の調査研究に関すること。
- (2) 出土品その他の資料の保存及び活用に関すること。
- (3) 埋蔵文化財の調査研究に係る図書その他の資料の整備に関すること。
- (4) 埋蔵文化財関係者の専門的、技術的な研修及び啓発に関すること。
- (5) 埋蔵文化財保護思想の普及及び啓発に関すること。
- (6) その他埋蔵文化財保護に必要な事業に関すること。

(組織)

第3条 埋蔵文化財センターに、次の課を置く。

総務課

調査課

普及資料課

(分掌事務)

第4条 前条に規定する各課の分掌事務は、次のとおりとする。

総務課

- (1) 職員の人事、給与及び服務に関すること。
- (2) 予算の執行及び決算に関すること。
- (3) 文書の收受、発送及び保存に関すること。
- (4) 公印の管守に関すること。
- (5) 施設及び設備の管理に関すること。
- (6) その他他の課の所管に属さない事項に関すること。

調査課

- (1) 国、県関係事業に伴う埋蔵文化財の発掘調査に関すること。
- (2) 東九州自動車道建設に伴う埋蔵文化財の発掘調査に関すること。
- (3) 重要遺跡の発掘調査及び保護に関すること。
- (4) 前3号の発掘調査に係る出土品その他の資料の整理に関すること。

(5) 第1号から第3号までの発掘調査に係る発掘調査報告書の作成等に関すること。

普及資料課

(1) 出土品の保存処理、修復、保存管理及び活用に関すること。

(2) 埋蔵文化財の調査研究に係る図書その他の使用の整備に関すること。

(3) 出土品その他の資料及び埋蔵文化財の調査研究に係る図書その他の資料（以下「資料等」という。）の貸出しに関すること。

(4) 埋蔵文化財関係者に対する専門的、技術的な研修及び指導に関すること。

(職及び職務)

第5条 埋蔵文化財センターに、次の表の左欄に掲げる職を置き、その職務は、それぞれ同表の右欄に掲げるとおりとする。

職	職務
所長	所務を掌理し、所属職員を指揮監督する。
副所長 (2人)	所長を補佐し、所長に事故があるとき、又は所長が欠けたときは、その職務を代行する。
課長	上司の命を受けて、課に属する事務を処理する。
専任主事	上司の命を受けて、専門的知識及び経験を必要とする複雑な事務に従事する。
主任主事	上司の命を受けて、複雑な事務に従事する。
主事	上司の命を受けて、事務に従事する。

2 前項に規定する副所長の職務の担当区分は、1人を統括とし、他を業務担当とする。

3 第1項の規定により副所長が所長の職務を代行する順序は、次のとおりとする。

第1順位 統括の副所長

第2順位 業務担当の副所長

4 第1項に規定する職のほか、埋蔵文化財センターに、必要に応じ、次の表の左欄に掲げる職を置き、その職務は、それぞれ同表の右欄に掲げるとおりとする。

職	職務
副参事	上司の命を受けて、埋蔵文化財センターの特定の事務を掌理する。
専任主幹	上司の命を受けて、専門知識及び経験を必要とする埋蔵文化財センターの特定の事務を掌理する。
主幹	上司の命を受けて、埋蔵文化財センターの特定の事務を掌理する。
専任副主幹	上司の命を受けて、専門的知識及び経験を必要とするその相当高度の専門的業務に従事し、又は埋蔵文化財センターの特定の事務を掌理する。
副主幹	上司の命を受けて、その相当高度の専門的業務に従事し、又は埋蔵文化財センターの特定の事務を掌理する。
専任主査	上司の命を受けて、専門的知識及び経験を必要とするその専門的業務に従事する。
主査	上司の命を受けて、専門的業務に従事する。

5 第1項及び前項に規定する職の他、埋蔵文化財センターに、必要に応じ、専門主幹及び専門主事を置く。

6 専門主幹は、上司の命を受けて、専門知識及び経験を必要とする埋蔵文化財センターの特定の事務を掌理する。

7 専門主事は、上司の命を受けて、専門的知識及び経験を必要とする事務に従事する。

(その他の職)

第6条 前条に規定する職のほか、必要に応じ、会計年度任用職員を置く。

2 会計年度任用職員は、上司の命を受けて、事務又は技術に従事する。

(開館時間等)

第7条 埋蔵文化財センターの開館時間は、午前9時から午後5時までとする。

2 宮崎県埋蔵文化財センターの入館時間は、午前9時から午後4時30分までとする。

(休館日)

第8条 埋蔵文化財センターの休館日は、次のとおりとする。

区分	休館日
宮崎県埋蔵文化財センター	1 土曜日及び日曜日 2 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」という。） 3 1月1日から1月4日まで及び12月28日から12月31日まで（休日を除く。） 4 特別整理期間（あらかじめ所長が定めて公示する期間をいう。以下同じ。）
宮崎県埋蔵文化財センター分館	1 月曜日（休日に当たるときを除く。） 2 休日の翌日（土曜日、日曜日又は休日に当たるときを除く。） 3 1月1日から1月4日まで及び12月28日から12月31日まで 4 特別整理期間

2 所長は、必要があると認めるときは、前項の規定にかかわらず、臨時に同項に定める休館日に開館し、又は同項に定める休館日以外の日に休館することができる。

(入館の制限等)

第9条 所長は、埋蔵文化財センターを利用しようとする者が次の各号のいずれかに該当するときは、その入館を制限し、若しくは退館を命じ、又はその利用を中止させることができる。

- (1) 公の秩序又は善良の風俗を乱すおそれがあると認められるとき。
- (2) 施設、設備、備品等を損傷し、又は滅失するおそれがあると認められるとき。
- (3) 所長が指定する場所以外において喫煙又は飲食をしたとき。
- (4) 条例若しくは規則又は所長の指示に従わないとき。
- (5) 前各号に掲げる場合のほか、埋蔵文化財センターの管理運営上支障があると認められるとき。

(資料等の館内利用)

第10条 館内において資料等を利用使用とする者は、資料等館内利用承認申請書（別記様式第1号）を所長に提出して、所長の承認を受けなければならない。

(資料等の館外貸出し)

第11条 次に掲げるものは、資料等の館外貸出しを受けることができる。

- (1) 国立の博物館、博物館法（昭和26年法律第285号）第2条第1項に規定する博物館及び同法第31条第1項の規定により文部科学大臣、都道府県教育委員会又は指定都市の教育委員会が指定した博物館に相当する施設
- (2) 社会教育法（昭和24年法律第207号）第21条に規定する公民館
- (3) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第1条に規定する学校
- (4) 国又は地方公共団体の設置する教育又は文化に関する調査研究機関
- (5) 市町村立の歴史民俗資料館等で宮崎県教育委員会教育長（以下「教育長」という。）が定めるもの
- (6) その他教育長が適当と認めるもの

2 資料等の館外貸出しの期間は、30日以内とする。ただし、所長が特に必要があると認めるときは、これを延長し、又は貸出しの期間中であっても当該資料等の返還を求めることができる。

3 資料等の館外貸出しを受けようとする者は、資料等館外貸出承認申請書（別記様式第2号）を所長に提出し、所長の承認を受けなければならない。

4 所長は、出土品その他の資料について前項の承認をしようとするときは、次の事項を確認しなければならない。

- (1) 貸出しを受ける目的が当該出土品その他の資料の保存及び活用にとって適切であること。
- (2) 当該出土品その他の資料の保管、展示等を適切に行うための施設及び設備が整備されていること。
- (3) 貸出しの期間中当該出土品その他の資料が適切な知識、技能を持つ者に取り扱われること。

(弁償)

第12条 入館者、館内利用者又は資料等の館外貸出しを受けた者は、資料等、設備又は備品を亡失し、破損し、又は汚損したときは、所長の指示に従い、その修理又は損害の賠償をしなければならない。

(委任)

第13条 この規則に定めるもののほか、埋蔵文化財センターの管理運営に関し必要な事項は、別に定める。

附則

(施行期日)

1 この規則は、平成8年4月1日から施行する。

(宮崎県総合博物館管理運営規則の一部改正)

2 宮崎県総合博物館管理運営規則(昭和46年宮崎県教育委員会規則第4号)の一部を次のように改正する。

(次のよう略)

附則(平成12年1月20日教育委員会規則第1号)

この規則は、平成12年1月20日から施行する。

附則(平成12年3月31日教育委員会規則第8号)

この規則は、平成12年4月1日から施行する。

附則(平成12年12月18日教育委員会規則第21号抄)

(施行期日)

1 この規則は、平成13年1月6日から施行する。

附則(平成18年3月30日教育委員会規則第9号)

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

附則(平成19年3月30日教育委員会規則第3号)

この規則は、平成20年4月1日から施行する。

附則(平成20年3月31日教育委員会規則第6号)

この規則は、平成20年4月1日から施行する。

附則(平成26年3月27日教育委員会規則第2号)

この規則は、平成26年4月1日から施行する。

附則(令和2年3月30日教育委員会規則第9号)

この規則は、令和2年4月1日から施行する。

附則(令和5年3月30日教育委員会規則第6号)

(施行期日)

1 この規則は、令和5年4月1日から施行する。

(用紙に関する経過措置)

2 この規則の施行の際現に存する第1条の規定による改正前の博物館の登録に関する規則及び第4条の規定による改正前の宮崎県埋蔵文化財センター管理規則の規定に定める様式による用紙は、当分の間、所要の事項を適宜補正して使用することができる。

附則(令和6年4月1日教育委員会規則第3号)

この規則は、公布の日から施行する。

別記

様式第1号

(第10条関係)

様式第2号

(第11条関係)

別記

様式第 1 号(第 10 条関係)

資料等館内利用承認申請書

年 月 日

宮崎県埋蔵文化財センター所長 殿

住 所
申請者 氏 名
電話番号

〔法人にあつては主たる事務所の所在地、
名称及び電話番号並びに代表者の氏名〕

資料等の館内利用をしたいので、宮崎県埋蔵文化財センター管理規則第 10 条の規定により、
次のとおり申請します。

館内利用の目的			
資料等の名称	形 状	数 量	備 考
利用希望日時			
利用の方法			
撮影の有無			
備 考			

別記

様式第 2 号(第 11 条関係)

資料等館外貸出承認申請書

年 月 日

宮崎県埋蔵文化財センター所長 殿

住 所
申請者 氏 名
電話番号

〔法人にあつては主たる事務所の所在地、
名称及び電話番号並びに代表者の氏名〕

資料等の館外貸出を受けたいので、宮崎県埋蔵文化財センター管理規則第 11 条第 3 項の規定により、次のとおり申請します。

館外貸出の目的			
資料等の名称	形 状	数 量	備 考
館外貸出期間	年 月 日 から 年 月 日まで		

案内図

宮崎県埋蔵文化財センター

所在地 〒880-0212

宮崎県宮崎市佐土原町下那珂 4019

TEL 0985-36-1171(代表・総務課)

0985-36-1172(調査課)

FAX 0985-72-0660

ホームページ

<https://www.miyazaki-archive.jp/maibun/>

E-mail maizobunkazai-c@pref.miyazaki.lg.jp

アクセス

公共機関 :JR 佐土原駅から車で 10 分

宮崎市街地から高鍋町方面宮崎交通バス

御殿下バス停 から徒歩で 8 分



宮崎県埋蔵文化財センター分館

所在地 〒880-0053

宮崎県宮崎市神宮 2 丁目 4-4

TEL 0985-21-1600(普及資料課)

FAX 0985-26-2634

観覧時間 午前 9 時～午後 5 時

(入館は午後 4 時 30 分まで)

休館日 年末年始(12 月 28 日～1 月 4 日)

特別整理期間

入館料 無料

E-mail maibun-fukyu@pref.miyazaki.lg.jp

アクセス

公共機関 :宮交バス「博物館前」徒歩 4 分

JR「宮崎神宮」徒歩 9 分





宮崎県埋蔵文化財センター

〒880-0212 宮崎市佐土原町下那珂 4019 番地

TEL 0985-36-1171・1172 FAX 0985-72-0660

E-mail maizobunkazai-c@pref.miyazaki.lg.jp